

CanguRo LAで鮮烈デビュー

「美しい！」実用化に期待

NEWS CIT

2018
8・9合併号
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



ジャパン・ハウスLAの企画展に登場した「CanguRo」とHallucIIx

未来ロボット技術研究センター(fuRo)が開発した、ロボットから乗り物へと自動変形する次世代モビリティ「CanguRo(カンゲロ)」が8月、米国ロサンゼルスで華々しく国際デビューを果たした。自動車の発展とともに成長し、数々のSF映画を生みだしてきたハリウッドを抱えるロスの人たちにも、「CanguRo」は鮮烈な印象を与え、「実用化はいつ?」「今すぐ売ってほしい」といった声が相次いだ。

ニュースガイド

- 2面 木口さん優秀論文発表賞/宇井さんに助成金/水沢さん最優秀賞/大ピラミッド探査に千秋上席研究員が協力
- 3面 豪州建築展の模型を今村研が制作/メテオ流星自動検出3人を表彰/イスラム金融シンポ大反響/京楽線イベントに吹奏楽部出演
- 4面 ロボット出張講座/山崎研が夏のもの作り講座/御宿で星空教室/3学科研究室が夏休み自由研究講座
- 5面 英語授業開講へFD研修会/校友「仁王淳治さん」/出版案内
- 6面 8月オープンキャンパス/新任紹介

HallucIIxもお披露目

ロサンゼルスでの「CanguRo」デビューのデモンストレーションは、外務省が日本文化の新たな発信拠点として設けた「ジャパン・ハウスLA」で開催中の企画展《山中俊治「Prototyping in Tokyo」展》先導的なデザイン制作のオープニングイベントの中で、8月16日にメディアとVIPを招待して、18日には一般市民を対象に行われた。

これに先立つ15日夜には、ハリウッドスターが愛用した車やSF映画などの撮影に使われた車の展示で知られる「ピーターセン自動車博物館」のユニークでユーモラスな「CanguRo」を意味する「カンガル」を意味し、乗り物とロボットとの完全な融合を目指す「RiRoId」(ライドロイド)シリーズと位置づけられている。ライドロイド(ロボット)時のCanguRoは主人の後をついてきて、買い物の荷物運搬などを手伝い、離れた場所においてもスマートフォンなどで呼び出せば、指定の場所まで完全自動操縦で迎えにきてくれる。主人が移動したい時はライドモードに自動で電動変形し、主人の身体の一部となって移動をサポートする。移動中、事故を起こしそうになっても、スマートストップ機能で自動ブレーキが働き、未然に衝突を回避する。つまり「パーソナルモビリティを超えた真の人間機一体・AI時代の人間のパートナー」(古田所長)だ。

でも、同企画展の関連イベントとして、公募で集まった一般客を対象にデモが行われた。3日間とも「HallucIIx」もデモに加わった。《「Prototyping in Tokyo」展》は、fuRoの古田貴之所長と二人三脚で「HallucIIx」や「CanguRo」を生みだしてきたプロダクトデザイナー、山中俊治氏が制作したさまざまなプロトタイプを通して、そのインベーションのプロセスを伝える展覧会。

ベトナム初ロボット学科

国家大に本学カリキュラム移植

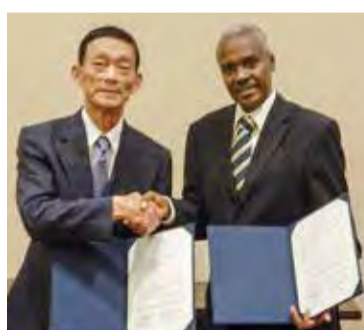
ベトナムの大学の頂点に立つハノイ国家工科大学に、本学のカリキュラムをそっくり移植した同国初のロボット学科が開設され、9月6日の入学式に瀬戸熊修理長が来賓として招かれてあいさつした。写真。



ルワンダ国立大と趣意書

理事長 科学技術発展へ協力

近年、アフリカ諸国の中でも目覚ましい発展を遂げて「アフリカの奇跡」と注目されているルワンダ共和国を8月23日、瀬戸熊修理長、松井孝典感星探査研究センター所長が訪問。ルワンダ国立大・チャールズ・ムリガンデ副学長と、科学の基礎教育や科学技術発展のため、



趣意書を交わす瀬戸熊理事長とムリガンデ副学長

めソフトウェア開発、なかでもICT(情報通信技術)の教育・研究に本学が協力していくための協力趣意書に署名した。ルワンダは1994年に部族間抗争に発した大虐殺で100万人(当時の総人口約730万人)ともいわれる犠牲者を出した。しかしその後、世界中に移住しているルワンダ人による農業や観光産業、鉱業などへの投資で目覚ましい経済成長を遂げている。ただ、これらの主要産品のさらなる自力発展のためには、科学技術やICTなどに携わる人材の育成、先進国の教育・研究機関などの共同研究の推進が喫緊の国家課題となっている。そこでルワンダ国立大をはじめルワンダ政府、ICT省など関係機関からの本学への協力に向けた協議の強い要請を受けて、瀬戸熊理事長らが訪問。宇宙分野の人材育成に向けた協力についても合わせて検討を進めていくことが確認された。

な動きに会場が笑いど歓声に包まれる場面も。山中氏と地元有識者らとの対談では、ロスで最近、急速に普及する一方、ユーザーのマナーなどが問題になっている「電動キックボード」について、「CanguRo」が代わりにならないかという話題も上った。「ジャパン・ハウスLA」がメディア関係者やVIP約100人を招待して開いた16日夜のプレスレビューとデモでは、fuRoの研究員に「とても美しい」という感嘆の声とともに、実用化の時期や価格について質問が相次ぎ、先端技術を「何はともあれ試してみたい」という米国人気質があふれていた。「ジャパン・ハウスLA」はロスのシンボルである「ハリウッド&ハイランド」の2階と5階に施設を設けている。アカデミー賞で有名なドルビーシアターの入り口に面しているため、毎日、大勢の観光客が訪れる。「Prototyping in Tokyo」と記された会場入り口に展示されている「HallucIIx」を見て中に入る人も多いという。「HallucIIx」は10月末まで展示される。法など、実践的な教育展開のためのノウハウの提供およびトレーニングの支援③充実した教育を展開していく上で必須のラボラトリーの構築支援④などについて、本学が協力することで合意。今年5月にはハノイ国家工科大学の3人の教員が客員研究員として本学を訪れ、fuRoの研究員や未来ロボティクス学科の教員から3カ月間、新学科立ち上げに向けた実践教育のための研修を受けた。この客員研究員招聘事業は新学科が完成年度を迎える2022年まで継続する。

木口さん優秀論文発表賞

高効率の昇圧DC-DCコンバータを実現

第32回電気学会産業応用部門大会(8月28~30日、横浜市保土ヶ谷区の横浜国立大で開催)のヤングエンジニアポスターコンペティション(YPC)で、木口龍雅(りゅうが)さん(電気電子情報工学専攻修士2年、西田保幸研究室)が「高い昇圧比をもったカスケード接続昇圧DC-DCコンバータ」が優秀論文発表賞を受賞した。



再生可能エネルギーをよりよく利用するには省エネ・高効率の電力変換システムが求められる。木口さんは西田研究室

で、直流電圧を効率よく高い電圧に変える昇圧DC-DCコンバータの研究に取り組んでいる。

今回、簡便な2つの昇圧チョップパ回路半導体のON-OFFを高速で繰り返すことで任意の電圧を作り出す回路をカスケード接続直列接続したDC-DCコンバータを用い、回路方式と利用部品の選択、回路のチューニングを高めレベルで行うことで、高周波トラン

クスを用いずに1キルトで8倍もの昇圧電力変換を95%以上の高効率で実現し、この成果が認められた。

回路の素子一つ一つの性能をより引き出すには、どう設計してゆけばよいのか―西田教授からのアドバイスを得て一歩一歩回路をブラッシュアップしていったという。木口さんは「受賞には、とても驚きました。発表の際には多くの質疑やコメントをもらうことができて、うれしく感じました。西田先生のおかげです。大変感謝しています」と語った。

Cリーグ 水沢さん最優秀賞

ゼロメートル地帯で「歴史を伝える小学校」提案



千葉県内大学の建築系3年生が小学校の設計を競い合う2018年第10回千葉県5大学合同講評会(通称Cリーグ)5月19日、本学津田沼校舎2号館で開催)で、本学の水沢隼志(しんし)さん(建築都市環境学科4年、石原健也

ら、センサーで集めたデータを人工知能(AI)などの技術を生かして分析し、感染症などの疾病の早期発見方法の開拓を目指す。

地盤沈下と都市開発が進んで歴史的建造物が消え、土地への愛情が希薄になっていく。土地の歴史や文化を伝える小学校

とは―。古地図を大量に調べ、かつての参道を現在の敷地に導き、環境解析から建築の形を作り、都市開発で出た土を構造に使う

ことで小学校にモニュメント性を持たせたことが評価された。



水沢さんが提案した小学校の模型

さまさまなスケールを行き来しながらのストーリーや古地図のトレースに苦労したという。水沢さんは「昨年、他コンペで負けた作品だったのでリベンジを果たせ、うれしく思います。ブラッシュアップしたか

いがありました。指導の先生方や後輩に感謝したいです」と語った。Cリーグは本学、千葉大、東京電機大、東京理科大、日本大の5大学が参加。学生が優秀作を4作ずつ持ち寄り会場でのプレゼンテーションし、ゲストの一流建築家たちが作品を前に講評し合う。当時、本学建築都市環境学科教授だった古市徹雄氏の主導で始まった。

宇井さんに助成金

ちばぎん研究開発助成制度2018



排泄センサー(ベッド上の青いシート)。下は宇井さん



要介護者のベッドに敷くだけで排泄を感知する排泄センサーを開発した宇井吉美さん(あばば代表取締役、工学専攻博士後期課程3年)が申請していた「ちばぎん研究開発助成制度2018」で、宇井さんへの助成が認められた。8月2日、千葉市の千葉銀行本店で助成金交付式があった。

今回申請した案件は、排泄センサーを用いて「高齢者の排泄物臭からの疾病検出」機能を実現する研究。千葉大真菌医学研究センター(後藤義幸准教授)と協力して来年1月までに成果を挙げる予定で、研究資金として約100万円の助成が認められた。

排泄センサーは特別養護老人ホームなどに販路を拡大中だが、現在は排泄の有無を知らせる機能と排泄リズムの把握を支援する機能だけとなっている。

体調を崩しやすい高齢者に、感染予防が重要課題。ノロウイルスなどは、においのパターンで検知できる可能性があるという。宇井さん

宇井さんは中学時代に祖母を介護した経験から介護者の負担を減らしたい、と本学に入学。未来ロボティクス学科在学中の2011年に学生ベンチャーあばばを設立した。日本政策投資銀行主催「第1回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」でファイナリストになったのをはじめ、数々の創業コンテストで最優秀賞などを受賞している。

製品化した排泄センサーはオーストリアやオランダからも発注が来ており、今後、海外への販売も視野に入れている。

東日本国際大エジプト考古学研究所の公開研究発表会で。左から3人目が千秋上席研究員、右から3人目が吉村学長

ギザのクフ王の墳墓として知られる大ピラミッドは昨年、名古屋大などのチームが、内部に未知の巨大空間があるのではないかと英科学誌ネイチャー電子版に発表し、注目された。プロジェクト

「大ピラミッド探索プロジェクト」に関する覚書の締結

エジプト考古学者・吉村治氏(ち)が学長を務める東日本国際大(福島県いわき市)のエジプト考古学研究所は7月5日、「大ピラミッド探索プロジェクト」について本学惑星探索研究センター(PERC)など4大学1社の研究機関と連携協力の覚書を交わした。

PERCは「はやぶさ2」の技術開発に関わった千秋博紀(ち)上席研究員が、東北大・佐藤教授、東京大・宮本教授のチームが行うGPR(地中レーダー)探索のとりまとめを担当。電波を送り反

射波のパターンから地下構造を推定する技術で、観測データを3次元化したピラミッド内部を探る。大ピラミッドは底辺約230m、現在の高さ約139m。千秋上席研究員によると、これは小惑星の典型的サイズくらいで、惑星の構造探査で検討している方法を応用できそう、とプロジェクトに声をかけたのが協力計画のきっかけという。

ほかに九州大・金准教授のチームが宇宙線ミュオンを用いた透視する「ミュオグラフィ」を、タイプエス社がドローンによる測量などを担当する。

東日本国際大の研究発表会を開き、探索プロジェクトの説明やパネルトークを行った。

大ピラミッド構造探査 千秋上席研究員が協力

環境的課題と豪州建築“展開催” 模型群、今村研などが制作

ツザンズ氏の建築を紹介する「ユニヴァーサル・プリンシパルズ：環境的課題をリセットするオーストラリア建築の試み」展(在日オーストラリア大使館など主催が7月7日～8月26日、六本木ヒルズ展望台・東京シティビュー内スカイギャラリーで開催された。気候も地質学的にも両

極端の要素が混在する大術を組み合わせて進化した建築群。会場では「環境」に焦点を当て、12の建築がドローイング、模型、映像で紹介された。展示模型10点中7点は千葉工大・今村研の学生たちが制作した。



展示模型と(左から)今村教授、オーストラリアの建築家ツザンズ氏、今村研の3人



日豪3大学(千葉工大、東京芸大、東京芸大)の建築家ツザンズ氏、今村研の3人と、今村研の学生たちが制作した。

術大、豪ニューサウスウェールズ州立大の学生たちは同国の著名な建築家・ウェンディ・ルーウィンさんの指導で1年前から模型とドローイング制作に着手。5月には現地でも実物を見学し、建築家からレクチャーを受け、提供された図面を読み取って、単なるミニチュア作りに終わらない作

品に仕上げた。同建築展は8月30日、9月6日、東京都港区の展示会開催前日のレセプションには高円宮久子様、リチャード・コート駐日オーストラリア大使のほか日豪の建築家、携わった学生たちが参加。本学の学生らが、手がけた作品を久子様説明し「素晴らしい」と褒め、言葉をいただいたという。

同建築展は8月30日、9月6日、東京都港区の展示会開催前日のレセプションには高円宮久子様、リチャード・コート駐日オーストラリア大使のほか日豪の建築家、携わった学生たちが参加。本学の学生らが、手がけた作品を久子様説明し「素晴らしい」と褒め、言葉をいただいたという。

通貨の必要性、規制、リスクなど、その最新動向と今後の展望について特別講演。基調講演では、イスラーム金融研究の第一人者である京都大学大学院の吉田悦章特任教授がイスラーム金融におけるフィンテックの動向と課題を、東京大学院のProf. Nees特任研究員がイスラーム仮想通貨へのAI活用の可能性を講演した。

イスラーム圏に仮想通貨技術

金融シンポジウム大反響 久保教授の研究会が共催

「イスラーム金融とブロックチェーンの可能性」をテーマとする第1回イスラーム・フィンテック・エコシステム・シンポジウムが8月18日、東京スカイツリータウンキャン

パスで開催された。写真。主催はプロジェクトマネジメント学科の久保裕史教授が代表を務める千葉工大イスラーム・フィンテック・エコシステム研究会、JOA Financial

イスラームの教えでは活発な商業活動を美德として捉え、その公正かつ透明な経済取引によって得られる利益や所得は、経済的に恵まれない層に再分配することが奨励される。このような理念に基づきイスラーム金融は、効率的な資金取引と透明な決済を可能とするブロックチェーン技術を用いた仮想通貨とも整合する。すなわち、イスラーム金融とフィンテックを総合的に捉えるアプローチは、経済社会の根幹を大きく変えるポテンシャルを秘めている。

この日のシンポジウムでは冒頭に久保教授が本研究会の趣旨と活動内容について述べた。次いで仮想通貨業界で著名な日本仮想通貨ビジネス協会の奥山泰全会長が、仮想通貨の必要性、規制、リスクなど、その最新動向と今後の展望について特別講演。

流星自動検出を競う

98%検出の入賞3者を表彰

人工知能・ソフトウェア技術研究センター(S T A I R L a b o r a t o r y)と惑星探査研究センター(perc)が共催した、国際宇宙ステーション(ISS)に設置したカメラ映像から流星を検出するアルゴリズムの性能を競うコンペティション「メテオサーチチャレンジ」の入賞者が決定。9月1日、東京スカイツリータウンキヤンパスで表彰式と報告式が行われた。

1位は東大大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻・中山英樹研究室の永野雄大さん、2位はソフトウェア開発の(株)アイウィス応用技術開発部・人工知能開発チーム、3位は個人で応募した動画コーデック開発会社に勤務する榎本雅和さん。入賞者には小宮一仁学長名の表彰状と賞金(1位30万円、2位15万円、3位8万円)、楯が贈られた。

ISSに設置した超高感度CMOSカラーハイビジョンカメラで流星を長期連続観測する「メテオプロジェクト」は2016年7月7日にスタート。PERCにはこれまで膨大な動画データが届いている。しかし、当初開発した流星検出ソフトウェアが想定通りには機能せず、動画上の流星を見つける作業はすべて研究員の目視で行われており、流星を自動検出するソフトウェアの開発が急務だった。

そこでステアラボとPERCが手を組んで3月3日から6月30日まで「メテオサーチチャレンジ」を開催。大学院生から社会人まで参加者総勢83人から合計694件の投稿があり、コンペは大

成功だった。入賞した3つのプログラムはいずれも動画中の98%の流星を検出できる性能があるという。ステアラボは今後、これらのプログラムの構造を詳しく調べ、PERCと共同でさらに多くのデータで性能を確認。全てがOKであればPERCが保有する大量の動画に適用していくとしている。



「メテオサーチチャレンジ」の入賞者たち(前列)

「メテオサーチチャレンジ」の入賞者が決定。9月1日、東京スカイツリータウンキヤンパスで表彰式と報告式が行われた。

ISSに設置した超高感度CMOSカラーハイビジョンカメラで流星を長期連続観測する「メテオプロジェクト」は2016年7月7日にスタート。PERCにはこれまで膨大な動画データが届いている。しかし、当初開発した流星検出ソフトウェアが想定通りには機能せず、動画上の流星を見つける作業はすべて研究員の目視で行われており、流星を自動検出するソフトウェアの開発が急務だった。

また、PERCの「メテオ」プロジェクトリーダー、荒井朋子主任研究員は「今後、このソフトウェアを利用して、効率的に流星を検知・抽出し、メテオで得られた流星データの解析を進めて、多くの新たな発見と科学的成果を発信していきたい」と話している。

また、PERCの「メテオ」プロジェクトリーダー、荒井朋子主任研究員は「今後、このソフトウェアを利用して、効率的に流星を検知・抽出し、メテオで得られた流星データの解析を進めて、多くの新たな発見と科学的成果を発信していきたい」と話している。

また、PERCの「メテオ」プロジェクトリーダー、荒井朋子主任研究員は「今後、このソフトウェアを利用して、効率的に流星を検知・抽出し、メテオで得られた流星データの解析を進めて、多くの新たな発見と科学的成果を発信していきたい」と話している。

吹奏楽部が協力出演

京葉線沿線 盛り上げるイベント

京葉線沿線の利用客とともに夏休みを盛り上げるイベント「夏の終わりの思い出づくり」親子で楽しむトレインフェスタ(8月23日、千葉市美浜区のイオンモール幕張新都心で開催)に、本学吹奏楽部が出演し、幕張新都心を訪れた買い物客たちを楽しませた。

吹奏楽部「NOIS」は、JR東日本千葉支社が、地域との連携強化へ「選ばれ続ける京葉線」の実現に取り組んでいる活動の一環。海浜幕張駅最寄りのイオンモール幕張新都心、新習志野駅最寄りの千葉工大が協力し、夏の終わりの企画を盛り上げた。



吹奏楽部が協賛出演したイベントの様子。

吹奏楽部「NOIS」は、JR東日本千葉支社が、地域との連携強化へ「選ばれ続ける京葉線」の実現に取り組んでいる活動の一環。海浜幕張駅最寄りのイオンモール幕張新都心、新習志野駅最寄りの千葉工大が協力し、夏の終わりの企画を盛り上げた。

にぎやかロボット出張講座

船橋の小学校で 総合工学研と先川原室長



文化会・総合工学研究会（吉岡真一郎長）未来ロボティクス学科2年の学生たちによる「ロボット操縦体験」と、先川原正浩・未来ロボット技術研究センター（FURRO）室長の「ロボット講義」が9月6日、船橋市立法典西小学校で開かれ、5年生約120人と先生方が参加した。体育館中央に設けられたロボットフィールドに、学生たちは自慢の二足歩行ロボット4台を登場させ、児童らに囲まれながら自己紹介。各ロボットの特徴などを説明した。

「ロボット操縦してみたい人！」の声で、児童たちは操縦に挑戦し、真・コントローラーの扱いを教わり簡単な操作でロボットが機敏に動くこと歓声を上げた。倒れても

山崎和彦研究室の「夏のもの作り体験・公開講座」が今年も8月25日、東京スカイツリータウンキャンパス（東京都墨田区押上・東京スカイツリータウン8階）で開かれた。小学生10人が「災いを払う不思議な棒」づくりに挑戦した。

タウンキャンパスに足を運んでもらい、ものづくりの楽しさも体験してもらおうという企画で、山崎研が進める「CIT



①段ボールにいろいろな絵を描く
②組み合わせて不思議な剣づくり



災いを「棒」で退治

山崎研 小学生に夏のもの作り講座

山崎和彦研究室の「夏のもの作り体験・公開講座」の一環。創造性を養

今年テーマは「ワン・ア・ア・ア・ア・ア」。災いを払う自分だけの不思議な棒剣を作り、災いをイラストで表現していく。

学生たちが予め3Dプリンターで作った持ち手の部分に、レーザーカッターで色々な形に切りそろえられた段ボールを組み合わせて装飾し、自分だけの武器が出来上がった。

最終プレゼンでは、プログラミングキットのMESHIJo blockなどの技術を使って、自作の剣で、投影された「災い」に立ち向かった。大きな剣を振りかざし、災いが退治される姿を見て、子どもたちから歓声が上がった。



プログラミング言語を使って



理科を学びながらアイスクリーム作り

「SHIRAHAMA MARKET」を、同じ地方創生に取り組み聖徳大短期大学部総合文化学科（松戸市）と協力して参加する予定。

御宿で「星空教室」

天文研 お隣・勝浦市の児童も招き

本学天文研究部（部長・藤原克昭さん）機械電子創成工学科3年の「星空教室 in 御宿」が8月10、11日の2日間、御宿研修センター（千葉県夷隅郡御宿町）で開かれた。10日は勝浦の郁文・豊浜小学校、11日は御宿・布施の両小学校の児童・保護者を対象に、星空を勉強した写真展も開催した。

技術を体感！夏休み

南房総の小学生らに 3学科研究室が開催

地元小学生らが大学の技術を体感できるオープンラボ「小学生向け夏休み自由研究対策講座」が都市環境・デザイン・情報ネットワークの3学科研究室の主催で8月15、22日の2日間、南房総市で開催され、児童ら約30人が参加した。

交流を楽しみながら星空観察

部長の藤原さんは「昨年の反省点を生かした観測会になったと思う。冬は空がきれいですよ」と、冬季開催を望む場面もあった。



交流を楽しみながら星空観察に加わり、「冬の御宿の空は本場にき

英語授業 開講のために

FD研修会 教職員90人が実践方法を討議



教員の教育能力を高めようとする実践方法を探るFD(Faculty Development)研修会が8月6日、津田沼校舎5号館6階の大教室で開催され、教職員90人が参加した(写真①)。

今回の主題は「英語授業開講に向けた実践事例の紹介」。

開会に先立ち、小宮一仁学長が英語による授業を開講する意義を説明。続いて鴻巣努FD委員長(プロジェクトマネジメ



ント学科教授が、大学を取り巻く国際化の情勢と、対応に向けた要点を解説した。

研修の第一部では、下田篤教授(マネジメント工学専攻長)が、大学院での英語コース開設に向けた実践例を説明、併せて自身の英語科目の運営例を紹介した(写真②)。

第二部では稲坂晃義助教(デザイン科学科)が、英語によるワークショップの運営例を基に、英語授業の具体的な意義や方法を紹介した。

各講演に対し、会場からは留学生のニーズやコミュニケーションの留意点、それらに対する具体的な対応策などについて質疑が寄せられ、活発な研修会となった。

出版

建築を学ぶ初学者への入門書。本学教員6人が1年半をかけて作り上げた。建築史を学ぶはなくてもデザインすることは可能だが、歴史を知ることによってデザインの幅は格段に広がる。

建築を表現する力 養う

建築のリテラシー 7つの講義

著者 千葉工大建築学科の遠藤政樹教授、石原健也教授、今村創平教授、多田脩二准教授、藤木竜也准教授、田島則行助教が共同執筆
発行 彰国社
価格 2484円(税込み)



遠藤教授



石原教授



今村教授



多田准教授



藤木准教授



田島助教

がる。構造計算に頭を悩ますあまり、構造を避けてしまう学生たちが、構造とデザインの結びつきを知ることで構造学への興味が変わってくる。

こうした気づきから、建築学の知識を組み替え、それを計画・設計する際の実践知へと変えることが本書のねらい。リテラシーを読み書きする能力を、ここでは「建築を構想・計画し、表現する力」という意味を込めて「建築のリテラシー」と名づけている。

内容は▽日本建築史が育む「建築知」▽西洋建築史から学ぶ「普遍的な美」と知▽「ユーザー・オリエンテッド」な空間の尺度▽「作法」から発見へ▽「構造」からデザインへ▽近代以降の「建築と都市」▽「総合」としての建築デザイン——など。

そろそろ難渋している建築学学生への再入門書としても最適。A5版・226頁。

活躍する 校友

シスコシステムズ株式会社 公共・法人事業東日本事業部長

仁王 淳治さん (43歳)
(平成10年、工業経営学科卒)

あらゆるモノがネットにつながるIoT時代が近未来に迫る。世界でその最先端を走る米通信機器大手シスコシステムズ(略称・シスコ)の日本法人で東日本エリアを担当する仁王淳治さん。「オールデジタル社会は働き方も暮らし方も変えていく」と語る口調は熱い。

ト貯金をはたいた中古車でドライブを楽しんだ。

4年目。卒業研究のテーマは「広告のIT活用」のビジネス効果。卒研に工場実習は付きもの。しかし「CM工場」があるはずもない。寛容な指導教官の理解を得て論文だけで無事パスし、インテグレーション企業に社会人としての第一歩を印した。

インテグレーションはITサービス会社だが、もっぱらお客様のニーズに応じ個別のシステムをセットしていく。

超える。主に国内の製造業の事業部長をしてきた仁王さんは昨年8月、東日本事業部長に就任。大企業から中小企業まで、さらにデジタル化を視野に入れ始めた自治体や地域づくりなど多彩だ。北海道から甲信越までカバーする。

ひとつのミスが業務ラインを止めかねない。前の会社でのほろろ苦い教訓……。

「自動車メーカーに納めた機器がほぼ100万回に1回の確率でしか起きないトラブルに見舞われた。協力して直

▽リオ五輪(2016年)で米メディアは競技後の選手と本社を映像回線つなぎ、スタジオからインタビューした。おかげで某TV局の派遣スタッフは北京五輪(2008年)のほぼ3分の1に、「でも、こぞという種目では直接マイクを向けます」(仁王さん)。

▽海外の生産工場からの送信映像を見ながら、日本で故障の修復指示ができる。「災害時の医療の遠隔診断、スポーツ選手に対する遠隔コ

ネットが社会を変える 世界企業の先兵役



「笑う門には福来る」をモットーに」と仁王さん

6年半勤めた。「技術の応用開発を含め、仕事の幅を広げたい」と2004年、シスコへ移った。

ルーター(中継装置)メーカーとして出発したシスコは、M&A(合併と買収)手法も駆使して成長した世界最大級のコンピュータネットワーク機器提供会社だ。製造のほか、ソフト開発、とかく話題のサイバー攻撃に対するセキュリティソリューションなど、世界シェアは6割を

したが、言われました。「デートに行こうとして、もし車が動かなくなったら、当人にはその1回がすべてですよ」って。以来、お客にとって唯一無二の商品なのだど肝に銘じて慎重に準備し、部下にもそう言っています。

それにしても、コンピュータの性能は指数関数的に進化し、データ容量も激増している。「アイデアの朝令暮改など珍しくない」と仁王さんは、こんな例をあげた。

忙しい日々にはストレスはたまりそうだが、「笑う門には福来る」をモットーに樂觀的に構えています。ゴルフや部下とのアルコール付き会話でストレスを流す。奥さんと子ども2人の4人家族。

いち、海外有名教授の授業聴講も容易です。シスコ社員は自宅で社内ウエブ会議に出たり、採用面接も出先のオフィスと東京とを結んでやりまします(同)。

まはたきする間もなく時と距離の壁を乗り越えてしまふ。一方で効率アップに伴う合理化は避けえないだろうが、「その対策は別に考えつつ、時代に取残されないうことが重要」という。テレワークなど社員の働き方改革で厚労大臣賞を受けたほか、今年「働きがいのある会社」ランキングで大企業部門のトップに輝いている。

「学び体験」を全展開

8月オープンキャンパス

今年2回目のオープンキャンパスが8月4日、新習志野キャンパスで開かれた。夏休み中、関東圏外からも高校生や父母たちが訪れた。来場者数は昨年8月、津田沼校舎で開催したオープンキャンパスの記録を更新、5587人となった。

イベントの中でもメインの「全部見せます、千葉工大！」学部学科説明会「AO入試説明

会は次々と満席に。千葉工大の特色や入試について知ろうとする生徒たちも詰めかけ、立ち見姿も多く見られた。

体育館では、バスケットコート3面分の床面積を全利用し、全学科による「学び体験」が展開された。普段、見ることの出来ない研究内容を、高校生にも分かりやすく紹介。展示物や体験授業などを楽しく参加者らで



学び体験——機械電子創成工学科



学び体験——建築学科



学び体験——先端材料工学科



学び体験——プロジェクトマネジメント学科



AO入試の説明会場



「全部見せます、千葉工大！」



「在学生に聞いてみよう」

1、2年生の学びを知ってもらおうと用意された「新習志野からはじめよう！」では、教育センターの教員たちが、大学に入ってから必要な学びにぎわった。

このほか、人気のキャンパスツアー、学生寮ツアーでは、在学生が中心となってキャンパス内を案内した。学生寮では寮生の部屋を公開するなどを丁寧に説明した。

ど、充実したツアーに。在学生から本音が聞ける「在学生に聞いてみよう」、女子高生の質問に本学女子学生が答える「チバテックの部屋」も変わらず盛況。進学相談コーナーには、アドバイスを求める高校生や父母の列ができた。

新任紹介

職員



大木 和美 (施設部 技術員)



久我 光則 (研究支援部 技術員)

工作機械や各種工具、そして若干の油の臭い……慣れ親しんだ作業環境で日本のものづくりを支えるエンジニア育成の一助を担っていきます。趣味はゴルフ、ウォーキング、高校野球観戦(千葉大会)。

同窓会



昨年10月に剣道部創部60周年記念行事を津田沼校舎で開催した。祝賀会では、小宮学長、宮川常務理事、坂本同窓会会長(当時)にご祝辞を賜り、祝賀会のお開きまで懇談をしていただいた。また、武道系クラブの部長、顧問の皆様にもご出席を賜り、創部60周年を一緒に祝っていただいた。OBと現役部員を含む総勢100名を超える祝賀会となった。

これまでOB会は5年毎に記念行事を開催してきた。OB会創設の目的は、「OB会員相互の親睦と知識の交流を図り、併せて、母校剣道部並びに母校の発展に寄与すること」と会則にある。記念行事の開催は活動の一環でOB会最大の行事である。OB会の活動を現役部員にも理解してもらい、記念行事の準備や定例の稽古会を一緒に開催し、それを継承することに価値があると考えます。

このような記念行事の開催が、卒業後に母校をそして剣道部を意識する機会になれば良いと考えている。

機械工学科 大谷 親

四季雑感



9月1日は防災の日。避難訓練に参加された方も多いのではないだろうか。今年は各地で地震や台風などの被害が大きくなり、その被害を目の当たりにしてより一層防災への意識が高まっていると思います。

さて、みなさんは災害への備えは十分でしょうか。たいこともあり、つい、手を伸ばしてしまう。興味をそられるその手の本は多々あり、それに上乗せするかのよう「か」らだにやさしいとか、「体を整える」等それらしい文句で誘惑されると「みなさん健康のためにいろいろ努力しているんだなあ」と、あらためて自分の生活習慣を見直す気持ちになったりして、同じような本を持っていくようが、たまたま購入する羽目になる。

この年だからこそ「体にイイコト」と、「一日の締めくくりに夜な夜な本を手に取り」ももっとも「知りたい」という衝動に駆られる。健康のために私が一番すべき事は、「夜更かししないで質のよい睡眠をとることよ」と、同僚や先輩に言われようが、それはちょっと置いておこう。

入試広報課 大橋 慶子

編集だより



以前に比べ、本を読むことが少なくなった。まあ、その要因としては、細かい文字が見にくくて読む気が起きないから……という情けない理由だ。ただ、料理本やパン作りに関する本だけは、「知る」とか「学ぶ」とか、そうした目的で読み